

2018年12月3日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

英国に桜 1000 本を寄贈する日英協会の取り組みを支援

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、この度、[一般社団法人日英協会](#)(「以下、日英協会」)が推進する、日英両国の友好の象徴となる桜 1000 本を英国内の複数の公園に寄贈するプロジェクトに 100 万円を寄付し、同協会の取り組みを支援します。

代表取締役社長兼 CEO の柴田拓美は、「日本のシンボルである桜には、日本の美の伝統を構成する要素が多く内包されています。このように日本人に深く愛される桜を寄贈する取り組みは、日本にとって重要なパートナーである英国との関係を深化させる一助となる試みです。次世代を担う若者の教育や気候変動対策への支援に加え、このようなプロジェクトの支援も、企業の社会的責任を推進する上で重要です。アジアに本社を置くグローバルな企業として貢献できることを大変光栄に思います」とコメントしています。

当プロジェクトは、2017年8月の日英首脳会談で発表された「[繁栄協力に関する日英共同宣言](#)」の中でも言及され、現在両国で計画が進んでいます。

日英協会への支援は、世界各国との関係構築およびそれに伴う日本の役割の強化に向けた、日興アセットの社会貢献活動の一環です。直近では、「[The Investor Agenda](#)」の取り組みへの支援を表明し、弊社が推進する ESG 責務の遂行をさらに強化しています。さらに、[米コロンビア大学ビジネススクール日本経済経営研究所\(「CJEB」\)への寄付](#)、「LGBT ファイナンス」への加盟、「女性のエンパワーメント原則(WEPs)」への署名など、若い世代の教育やダイバーシティ推進に積極的に取り組んでいます。

日英協会は、日英両国間の親善促進を目的として 1908 年に設立され、現在約 1,700 人の個人会員と約 100 社の日英の法人会員を擁し、従来から両国の親睦を深める活動を行っています。

以上

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用やETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

55年を超える実績を誇り、30以上の国・地域から集まる人材を世界10カ国・地域に擁して、約200名の運用プロフェッショナルが約23.9兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計300社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2018年6月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会